

生
知
供提
品送
宮
宮

友人一同

友人一同

[illegible]

大膽奔放な行動派の女王宇野千代は又常に、誘ふ水あらばいなんと、可憐な「お千代さん」であつたのだ。その數奇を極めた三十五年の生涯は、凡てが時代の尖端を跳躍する妖やしきロマンスの連續であつた。此所に彼女の長篇自傳成る、世にも怪奇な愛慾情痴の繪巻物だ。

あ
か
紅
い

世にも悲しきは、思ふ人には思はれて、思ふ人にも思はるゝ、悲戀のさだめである。是は社會組織やイデオロギイだけでは解決のつかぬ永遠の問題也。

母が男の刃に死んだのを知るとや知らずや二十一年の後、浪江は愛すればこそ最愛の夫の胸ゝわが胸に短銃をはてする。桃色のビジャマを巻いて墨染の花が咲いたやうに……。

げに怖るべきは血液の一粒ごとくに燃ゆる愛を焚く遺傳であり、知らずして報復する復讐のきしき因果である。母娘三代にわたる哀婉悲愴の相対のモダン修羅場、――愛慾・憎惡・亂絶望・情死・殺人・切れば血の滴りうする――の妖艶な物語が満都の女性を懺慍した。

囚はれた美少女浪江が、秘密の隠れ家
 で瓦斯を放つて悶絶する情景がある。
 何と諸君、此の場の描寫が彼と彼女を
 結ぶ機縁になつたのだ。眞實を描きた
 い一念で、かつて情死未遂の體驗ある
 東郷青兒氏を訪つた大膽な彼女は同
 時に、雀百まで踊忘れぬ「可憐なお千
 代さん」であつたからだ。

社論公央中

[illegible]

長岡規矩雄著 三五判總裝 九冊 特價壹圓五拾錢
新刊註は勿論演説や社交談話に用ひらるゝ新時代用語は悉く本書に蒐集解説す 發行所 磯部田陽

<p>東京 五月一日 録記展帝をせ備完も最・個百二約販真寔・枚八風色屋</p>		<p>評畫洋</p>		<p>評畫本日</p>		<p>彫刻</p>		<p>評藝工</p>		<p>帝展展景</p>		<p>美術新論</p>	
<p>鈴木中熊</p>		<p>大橋小木工</p>		<p>宮藤山</p>		<p>長富利</p>		<p>安永</p>		<p>油木</p>		<p>美</p>	
<p>田澤</p>		<p>川井</p>		<p>多</p>		<p>井</p>		<p>本</p>		<p>四</p>		<p>三</p>	
<p>久弘</p>		<p>武</p>		<p>四</p>		<p>三</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>	
<p>馬光</p>		<p>三</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>	
<p>八</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>	
<p>馬</p>		<p>三</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>	
<p>光</p>		<p>三</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>	
<p>三</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>	
<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>	
<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>	
<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>	
<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>	
<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>	
<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>	
<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>	
<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>	
<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>		<p>郎</p>		<p>吉</p>		<p>造</p>	

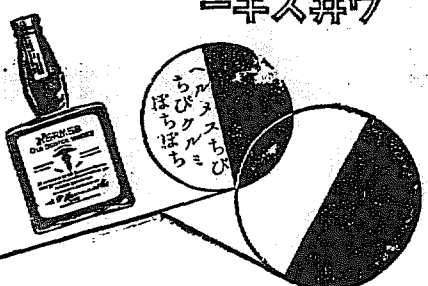
朝鮮地圖販賣元は（覽表進呈）
京城長谷川町 小林又七朝鮮地圖部

のトーレコヨチのこ
てり上に陸香



明治製菓株式會社
東京丸の内

本店大販賣



後頭部が痛い
二三日便が出
ぬ 胸がムカ
ツク どうも
變んだとマク
ニン服んだら
四寸位の蛔
虫がスルスル
と出て来まし
た……………

二、キリスト教の諸教義を略して御覧いたします。
 一、本會へ御入會の方に毎週「**新生生**」を御送りいたします。本文庫の御題目録はお申込次第お送りいたします。
 京城第五三三
 (ケール氏邸)
京城新生會

夜盲症の治療に、抵抗力の増進に、
疲労者に、虚弱者に、
純食肝油を原料として製出せられたるもの
にして效力原肝油に25倍す、服用し易く消
化吸収佳良、連用するも胃腸を害せず

包裝 { 100球入 0.3瓦
500球入 110瓦 1030球入

肺結核、氣管枝炎、肺炎、感冒、百日咳並に
 其他呼吸器病に善因する咳嗽喉痰ある場
 合盛に賞用せらる。蓋し效果佳良、服用容
 易、副作用絶無にして常に安心して用ひ得
 る特徴あるに據る。(説明書進呈)

包裝 粉末 50瓦入 100瓦入 錠劑 100錠入
液劑 100ml入 ボンボン 50顆入 其他

東京・宝町 **三共株式會社**
大阪・森北・稲育
京都府木下三丁目 電話 三共三三

三共

ガイタ

三共株式會社

東京・室町 大塚・板橋・新井

上野城小町三丁目 朝陽三共ビル

液剤 153 種入 センボン 50 種入 其他
東京・室町 **三共株式会社**
大塚・森北・稲荷
京橋府本町三丁目 電話 三三三

平和への趨

戦が終る。佛國の海軍總定加入説には、
 余年の別の理由があり、佛國の單獨参加
 はあまり望まじからぬ事ではある
 が、兎も角、佛伊兩國がにらみ合
 ひの愚かな競争に堪へずして、終
 るのはこれがためである。

御握手を交させられ――

御歡談遊ば

勳一等御贈進

日暹親善の
碑名、

大藏省の要求を

陸軍省でも承

「永井氏奉天で感想を語る」

之を聞いた、又在留邦人も
の對支外交方針を諒解して
て非常に嬉しかつた

天日製鹽の
總決算

開同志社大學總長
海老名 彊

たものであります。そ

るのであります。現代及將來にか
つて来るのだ
といふ事は、何であるかといふ
は神、佛、菩薩、即ち神道、佛
リスト教であります。これは
ない事で日本に昔から三教

院
三
中
義
備
用
本

支那の風景

南畝を論ず
伊藤

米國電話電信會社

公衆の利益等
する』と。

何故、この株は斯くも
れるのか。ウオール街で

あつた。若し
されたら監で
う——安心し
社（株主）の舉つある莫大な
時（株主）かは株主に分配される
待してゐる。同社は一

います。そのい、それなら要君が自分

し、またとを有つたらどうするか、の欲せざる處けないといふ。すると白ざる處要に施す事にならざる處、はいけないといふ。

ば之だけでは
なる。どうしても一夫

「己の欲せざる
かれ」之がハ
「人」といふ
より外はない。一夫一婦
は、支那人の儒者は男の
なかつた。日本の人の中
キリ判らなかつた、「三

か、どうも私事は、男の方には分つて

てをらなかつ
かといふと己
施す事なかれ
の中に女を入
て、行はるべき
ませぬ、女も入
れてをを
併しながらキ
リストといふ
ものは、男は
かれをを

男オトコ女メ老オヤ人ヒト子コ共トモ由ヨ大オホ國クニ冬フユ

毎巻一流漫畫家の挿繪が百數十枚
見ただけでも腹を抱へて笑ひ轉げ
面白いく！



佐々木邦全集

四六判函入極美本每卷漫書挿繪百數十

至八卷一册壹圓五十錢十六錢

大好評で第一巻目下大増刷中です。

次回増刷の都合がありますから申込
附部数、ゼヒお早く御通知下さい。

味の素

うまいの候のツて
味の素入りの付醬
油で食べる漬物の
うまさとは、何料理
も及ばぬ美味さ！



白鶴
一杯
元氣
百倍

朝鮮公論

朝鮮電氣事業の將來	石森久彌
南漢一城の開城史	石森久彌
農村は何處へ行く	石森久彌
變遷せる支那國代性	石森久彌
風俗	石森久彌
教育勸語と朝鮮民族	石森久彌
財界片々錄	石森久彌
矯笑錄	石森久彌
電力界評論	石森久彌
清州の秋を味ふ	石森久彌
冷言熱語	石森久彌
發行所	石森久彌

